

2020年度 第2四半期 決算説明会

第97期：第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）

2020年10月30日



太平洋工業株式会社

目次

1. 2020年度第2四半期業績
2. 2020年度通期予想
3. サステナビリティ経営
4. 中期事業取組み

本資料取り扱い上の注意点

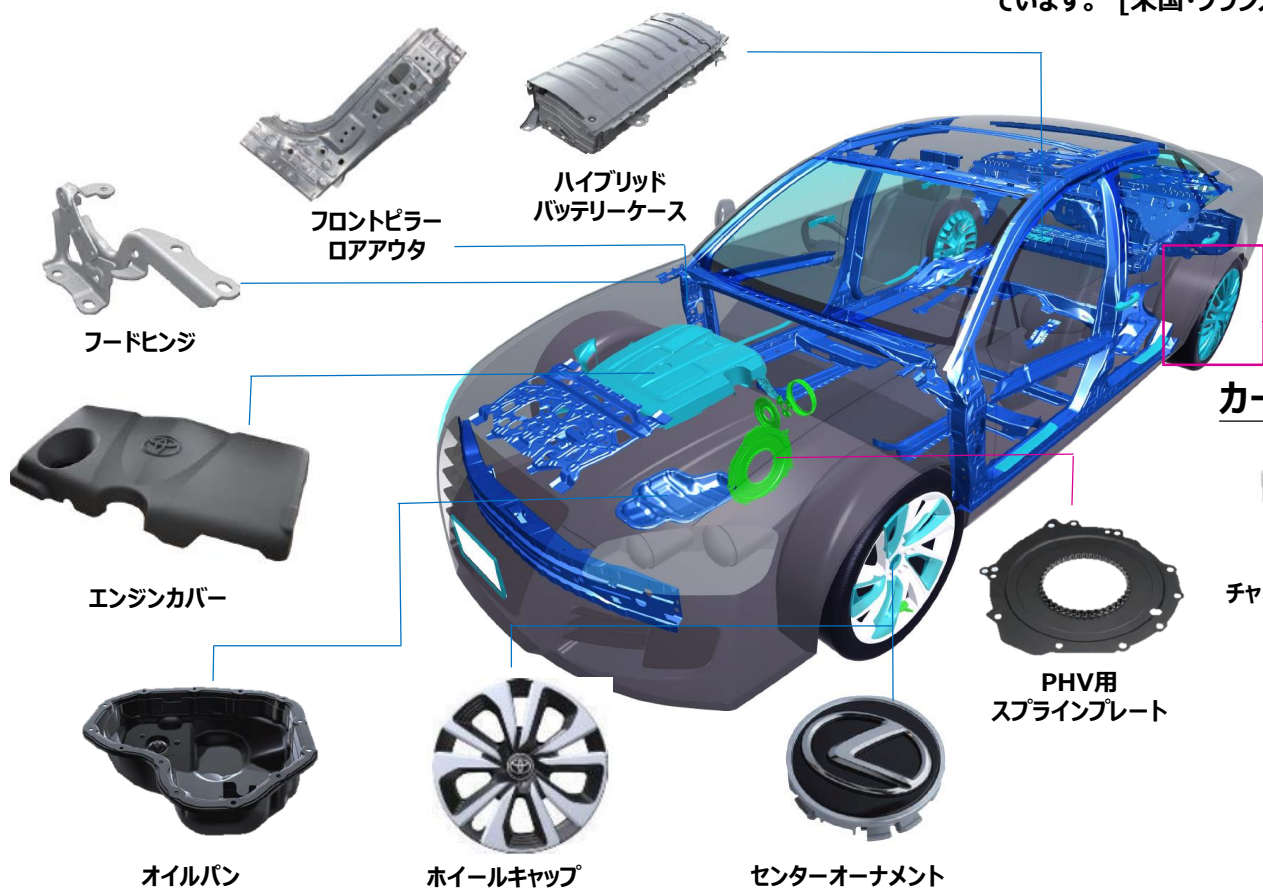
本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

事業と主要製品の概要

1930年創業、2020年で創業90年

プレス・樹脂製品事業

軽量化と高剛性化を両立させる超ハイテン材の成形技術をもつプレス製品、フィルム加飾技術やNV性能制御技術などで多彩な製品を提供する樹脂製品などを製造しています。[米国・中国・台湾・タイ]



バルブ製品事業

複数の世界トップシェア製品をもつバルブ製品、世界で需要増加が続いているタイヤの空気圧を監視するシステムのTPMS製品や、鍛圧製品などで構成されています。また、航空機、産業機械、エネルギー産業向けバルブも製造しています。[米国・フランス・ベルギー・英国・中国・台湾・韓国・タイ]

タイヤバルブ関連



カーエアコン関連



自動車以外の部品



グループ会社の概要

4/31

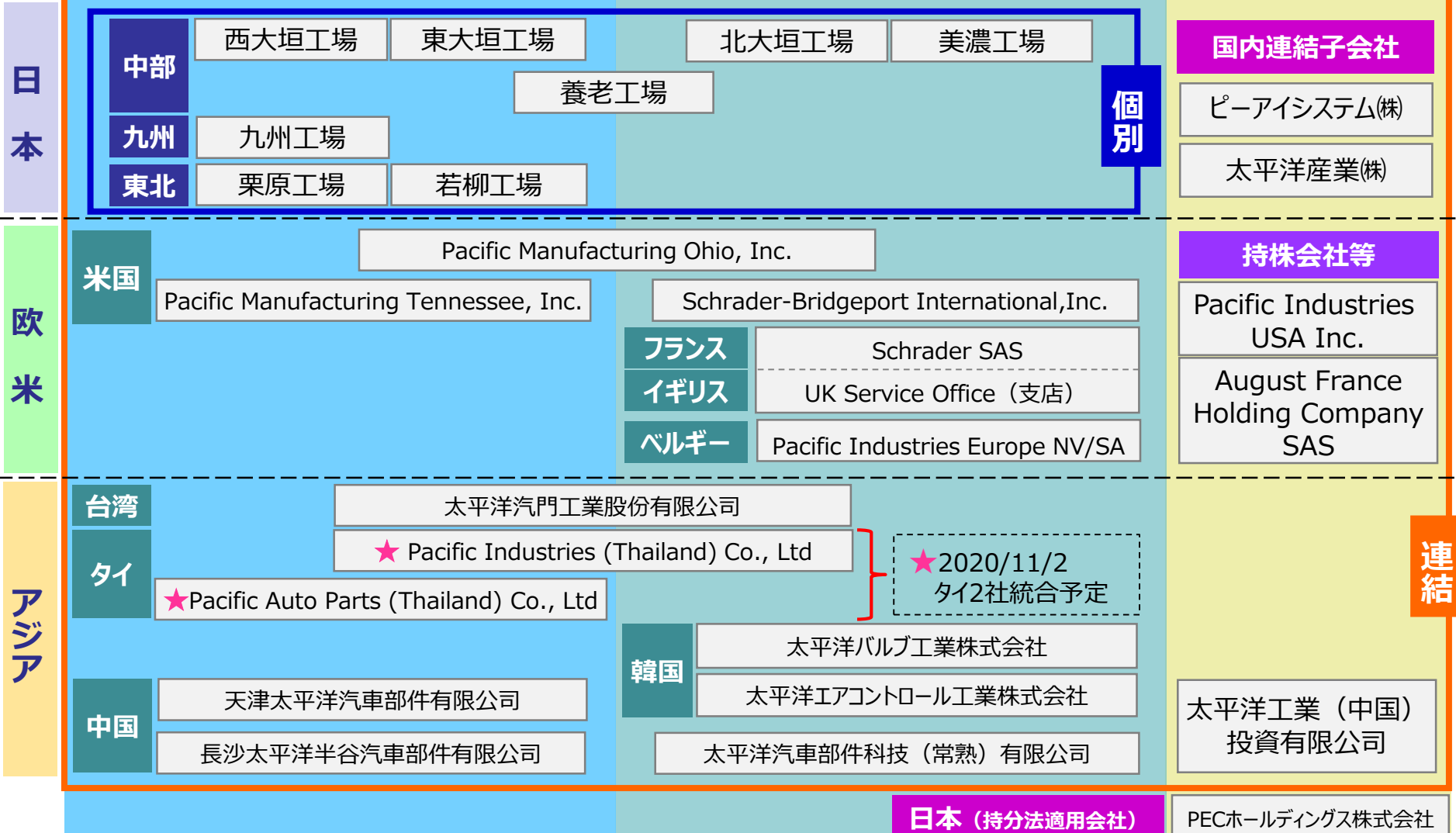
国内 8 工場、連結子会社 18 社、海外 8 カ国で事業展開

JCR格付
A-(安定的)

プレス・樹脂製品事業

バルブ製品事業

その他



コロナ禍における経営

コロナ対策と足元固め

- 感染防止の徹底
- グローバルでの対策と社会・家族・地域との連携
- 原価低減、固定費削減によるスリム化、
Web会議活用・仕事のやり方改善
- 生産体制・サプライチェーン・雇用維持
- 生産回復への追従、資金マネジメント

- 1. 2020年度第2四半期業績**
- 2. 2020年度通期予想**
- 3. サステナビリティ経営**
- 4. 中期事業取組み**

1-1 第2Q 連結業績

改善努力および販売回復により、2Qおよび累計で黒字化

(百万円、%)

	前第2 四半期累計	当第2 四半期累計							前年同期比	
		7/29 前回予想	1Q実績	2Q実績	累計実績	前回予想比				
						増減	増減率	増減	増減率	
売上高	過去 最高	82,765	58,500	23,838	40,989	64,827	6,327	+ 10.8	△17,937	△21.7
営業利益	過去 最高	4,683 5.7%	△1,600 △2.7%	△2,249 △9.4%	3,111 7.6%	862 1.3%	2,462	—	△3,820	△81.6
経常利益		4,935 6.0%	△1,000 △1.7%	△1,784 △7.5%	3,098 7.6%	1,313 2.0%	2,313	—	△3,622	△73.4
四半期純利益		3,473 4.2%	△1,000 △1.7%	△1,299 △5.5%	2,242 5.5%	942 1.5%	1,942	—	△2,531	△72.9

✓売上高 大幅な減収予想から販売回復

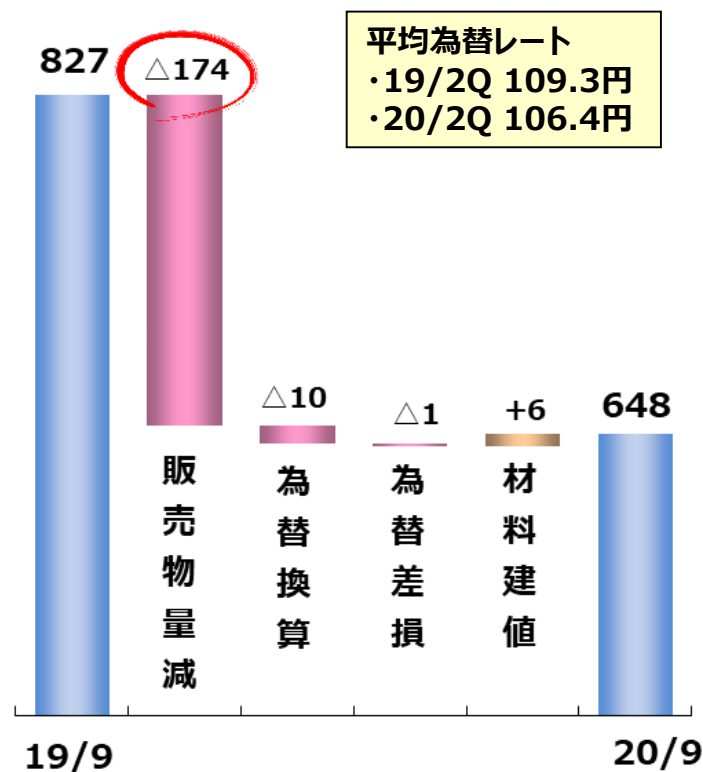
✓営業利益 改善努力と販売回復により、前回予想比 2.4 億円プラス

1-2 第2Q 連結 売上高・営業利益増減要因

コロナ影響により大幅減収なるも、改善・経費削減で黒字確保

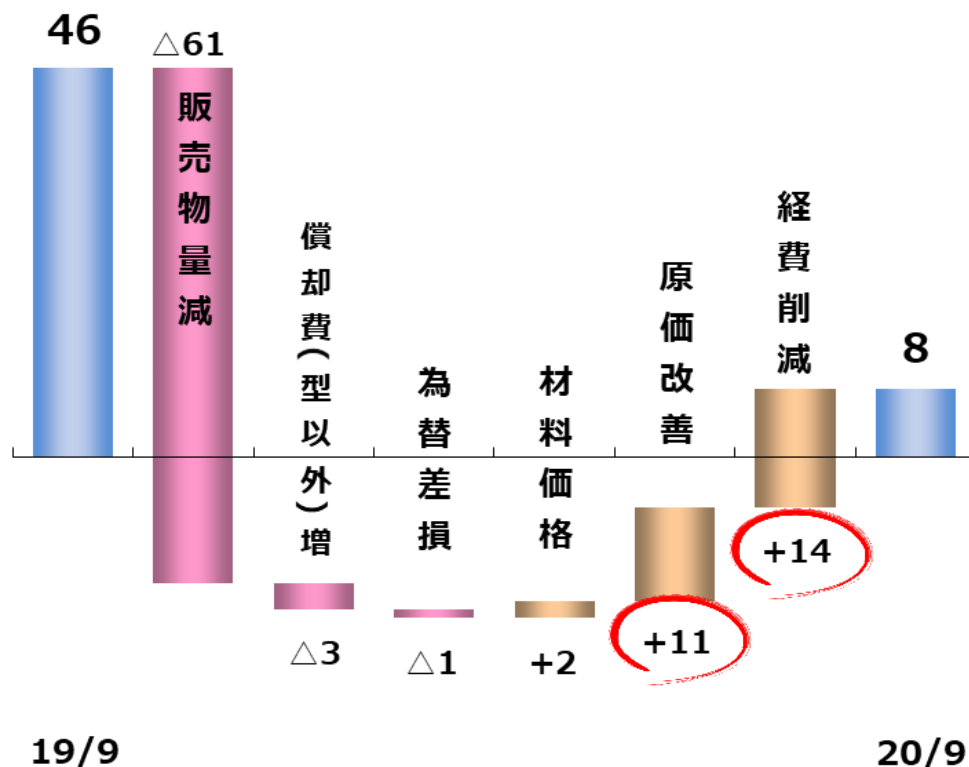
«20年度2Q 対 19年度2Q»
売上高△179億円

単位：億円



«20年度2Q 対 19年度2Q»
営業利益△38億円

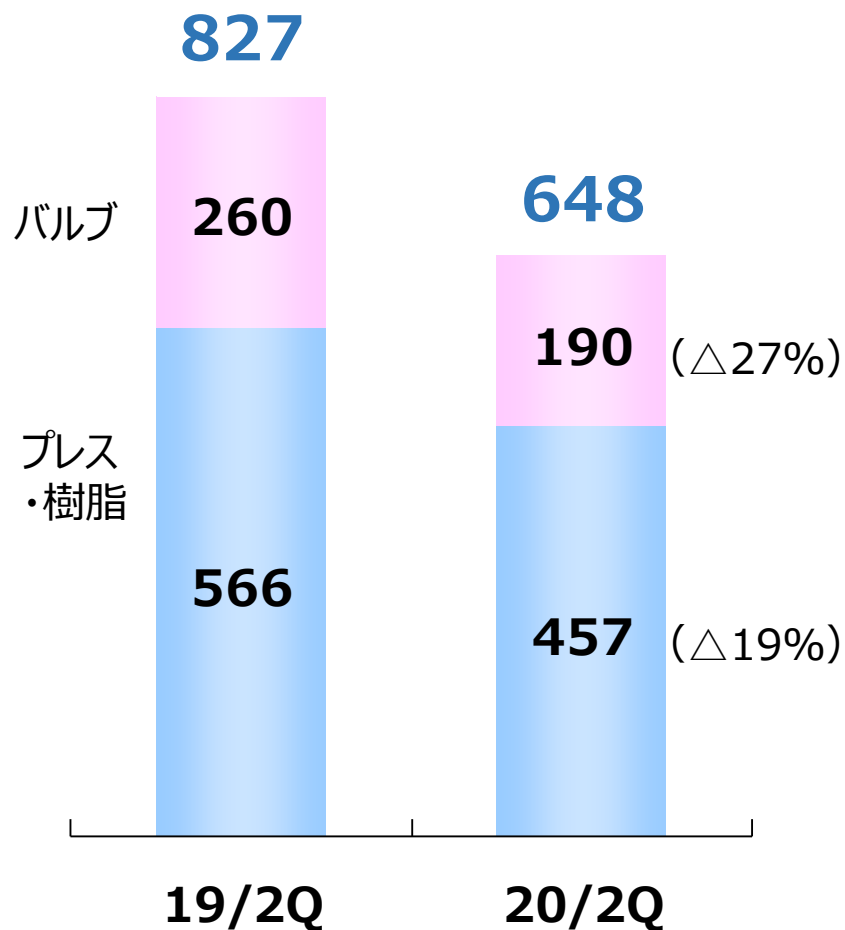
単位：億円



1-3 第2Q 連結事業別セグメント

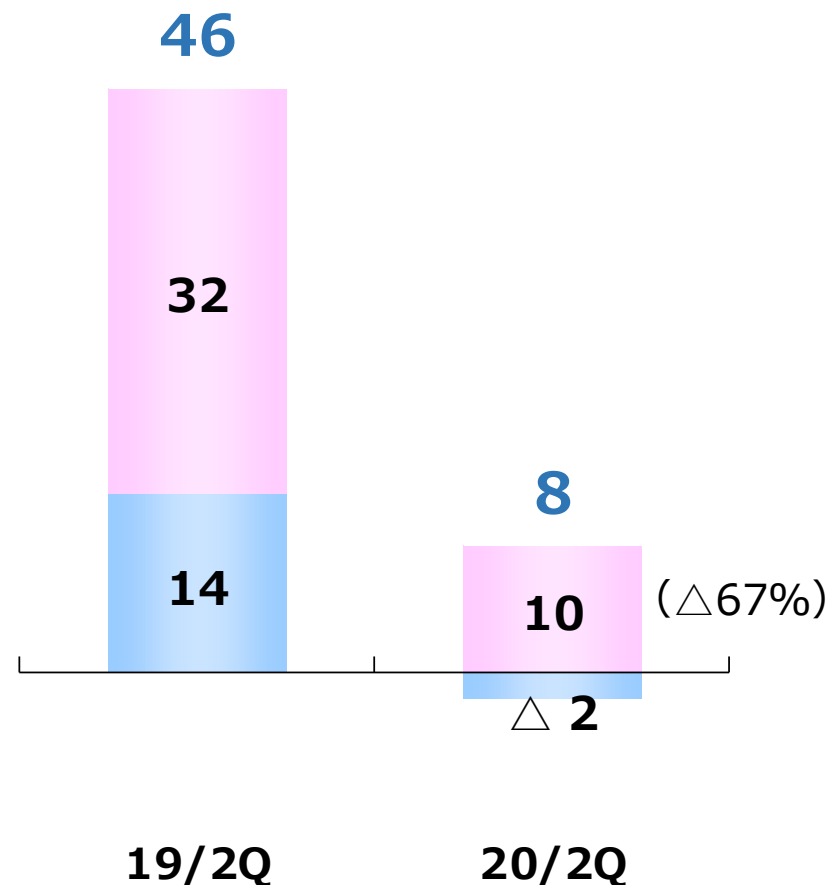
バルブ事業は黒字化、プレス・樹脂事業は赤字幅減少

《売上高》



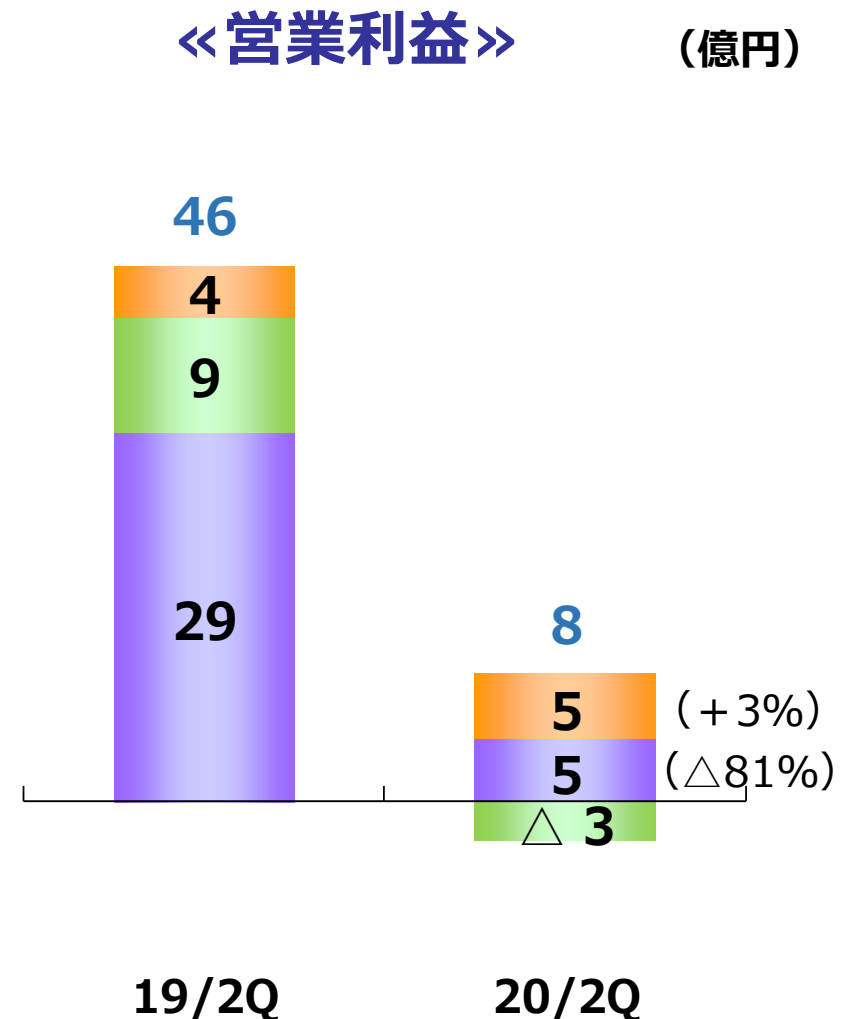
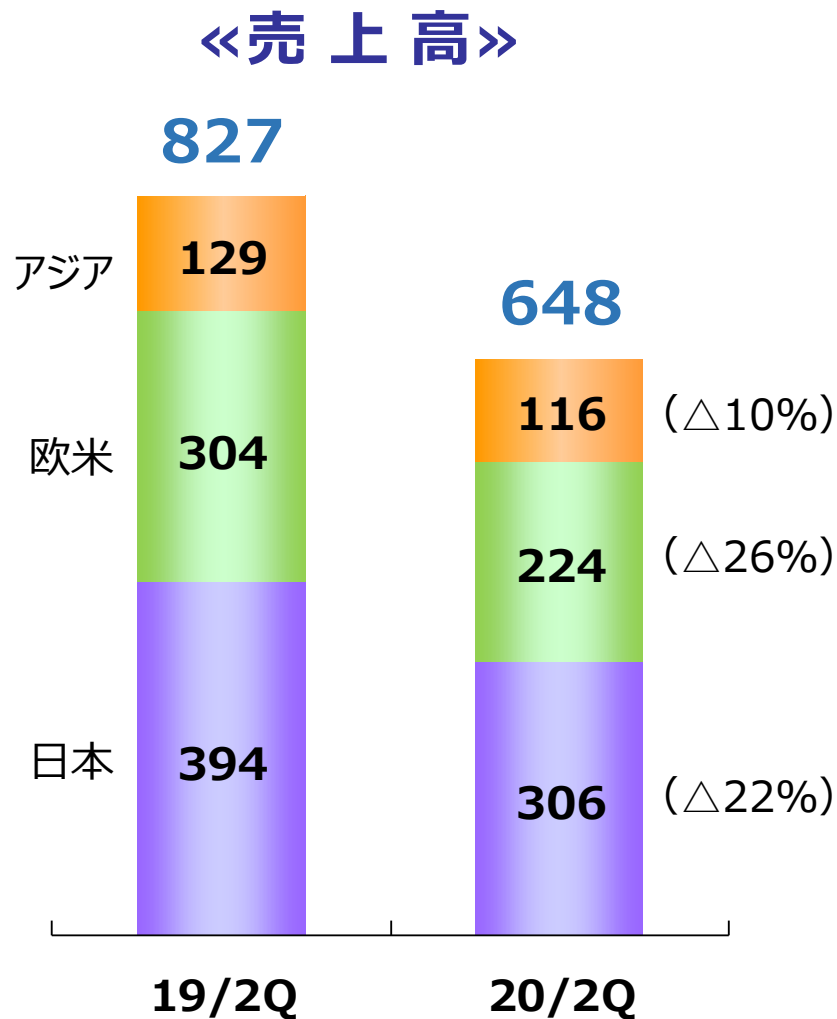
《営業利益》

(億円)



1-4 第2Q 連結地域別セグメント

日本・アジアは黒字化、欧米は赤字幅減少



1. 2020年度第2四半期業績
2. 2020年度通期予想
3. サステナビリティ経営
4. 中期事業取組み

2-1 通期 連結 業績予想

2020年度の業績は、2Q以降、黒字見込み

(百万円、%)

		'19実績	'20 前回予想	2020年度			前回予想比		前期比	
				上期実績	下期予想	通期予想	増減	増減率	増減	増減率
売上高	過去最高	165,969	135,000	64,827	80,173	145,000	10,000	7.4%	△20,969	△12.6%
営業利益	過去最高	10,511	2,000	862	5,138	6,000	4,000	200.0%	△4,511	△42.9%
経常利益		11,130	3,000	1,313	5,187	6,500	3,500	116.7%	△4,630	△41.6%
(四半期)当期純利益		7,256	2,000	942	3,558	4,500	2,500	125.0%	△2,756	△38.0%
売上営業利益率		6.3%	1.5%	1.3%	6.4%	4.1%	2.6%	/	△2.2%	/
ROE		7.5%	2.0%	1.9%	7.2%	4.5%	2.5%		△3.0%	
ROA (営業利益÷資産)		5.2%	1.0%	0.8%	4.9%	2.9%	1.9%		△2.3%	
一株当たり純資産	(円)	1,614	1,622	1,613	1,661	1,661	39	2.4%	47	2.9%

✓売上高 下期販売は回復基調

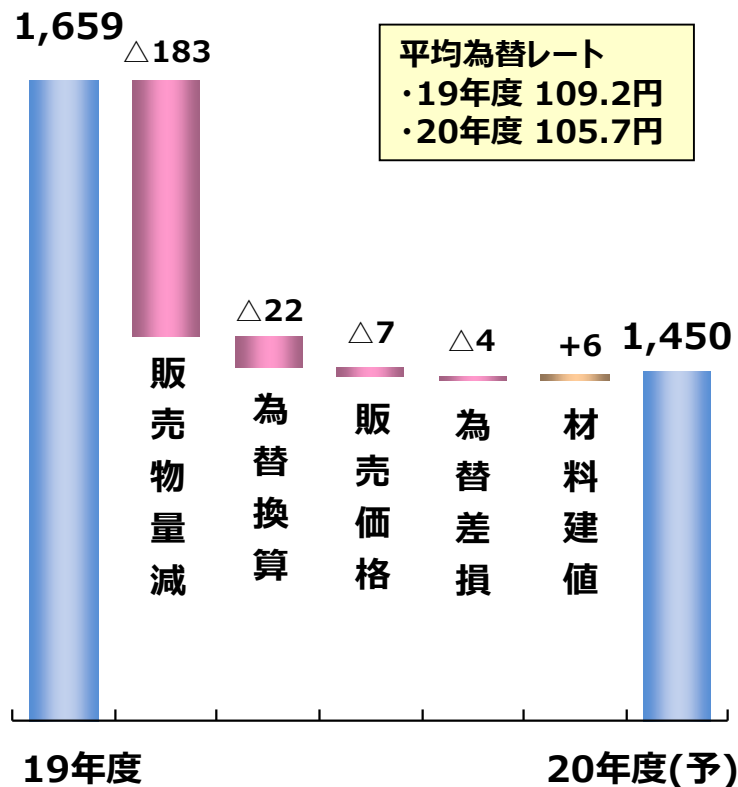
✓営業利益 改善の継続と販売回復により、前回予想比 40 億円プラス

2-2 通期 連結売上高・営業利益 増減要因

改善努力と販売回復で黒字確保

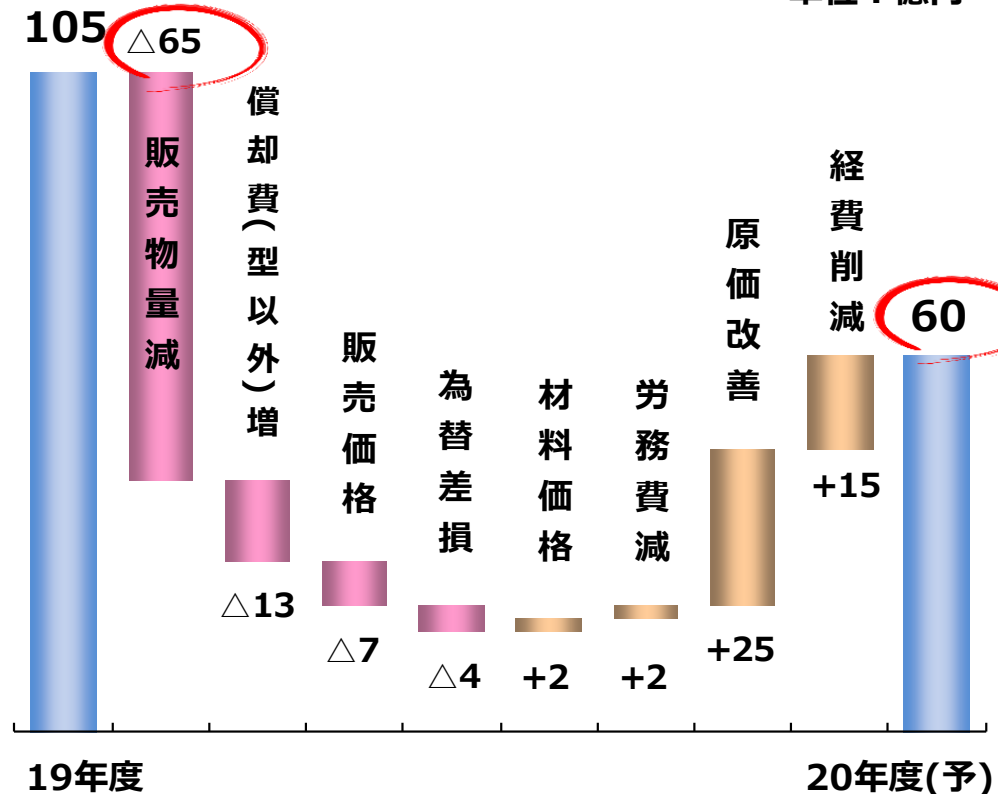
「20年度予想 対 19年度」
売上高▲209億円

単位：億円



「20年度予想 対 19年度」
営業利益▲45億円

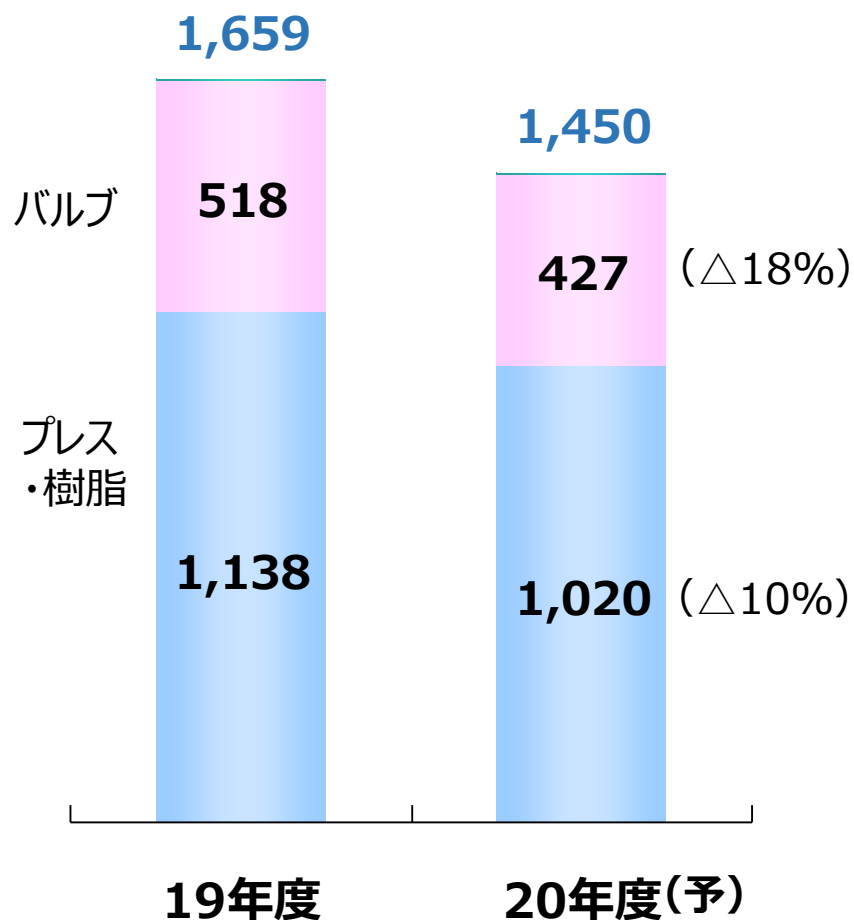
単位：億円



2-3 通期 連結事業別セグメント

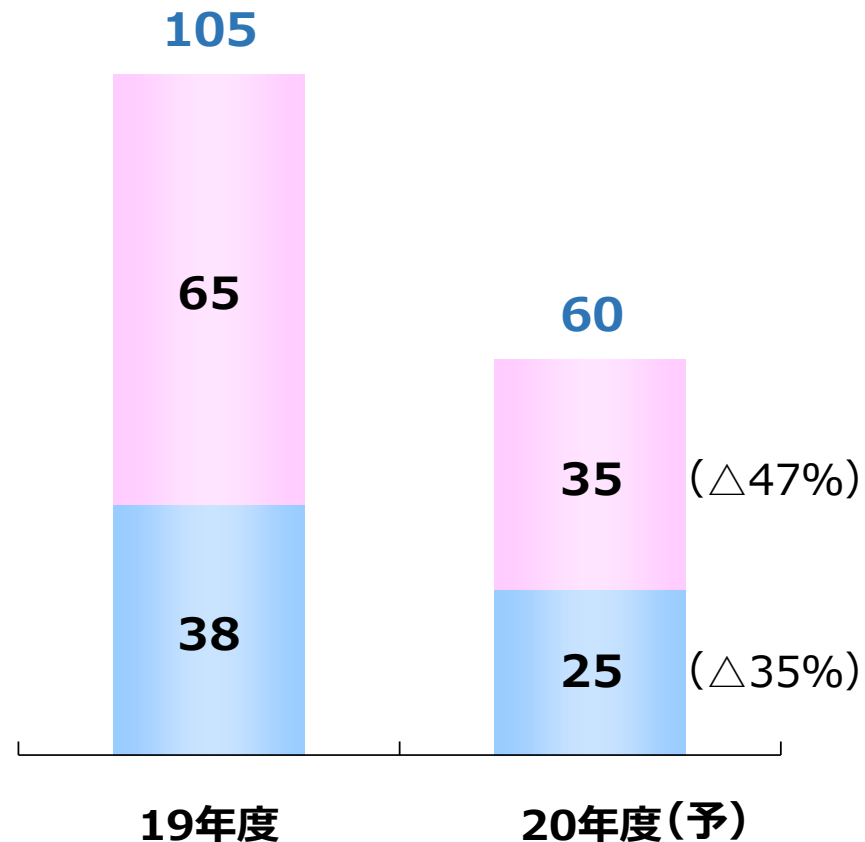
両事業ともに減収減益なるも、黒字見込み

《売上高》



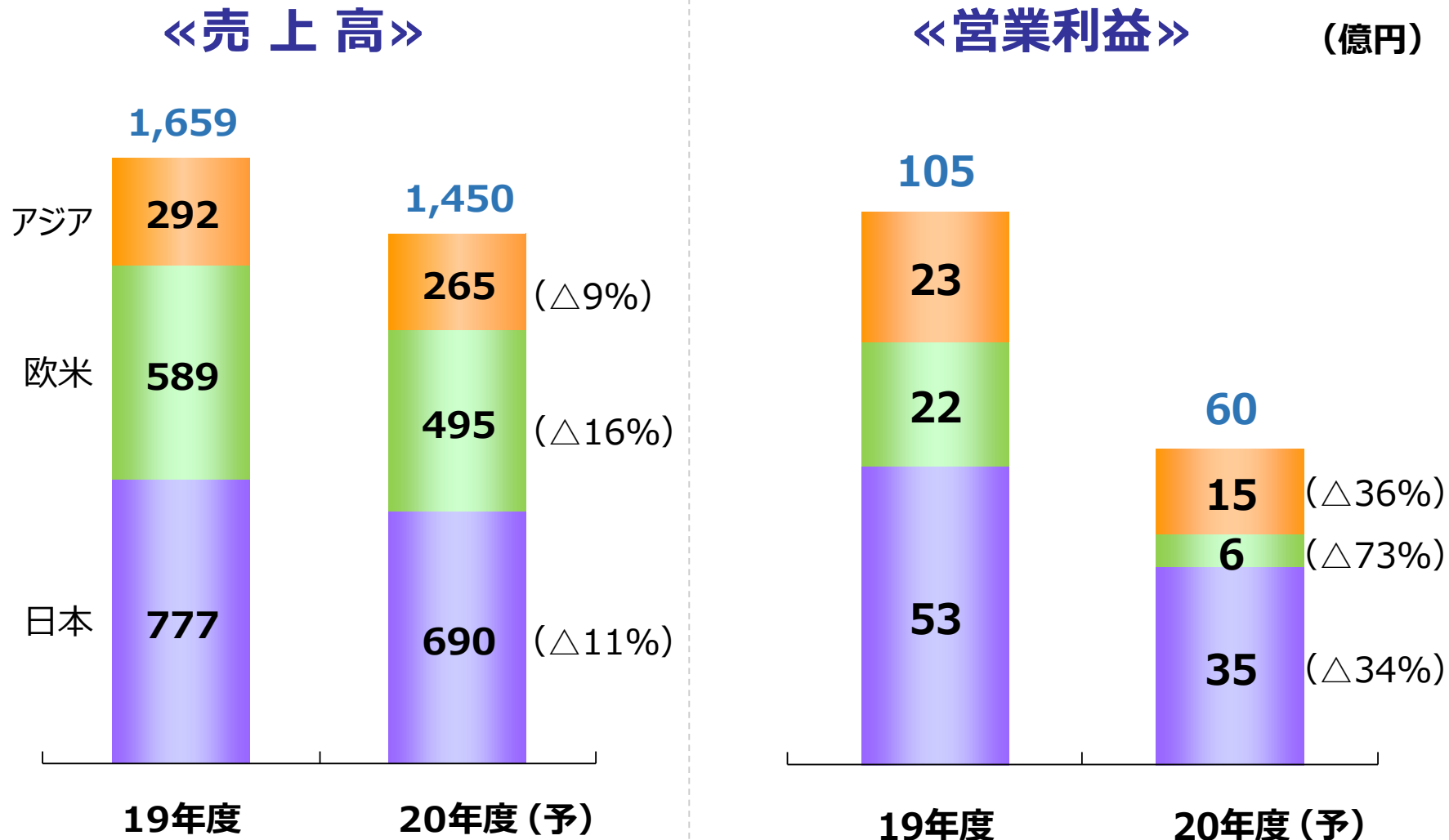
《営業利益》

(億円)



2-4 通期 連結地域別セグメント

日本・欧米・アジアともに減収減益なるも、黒字見込み

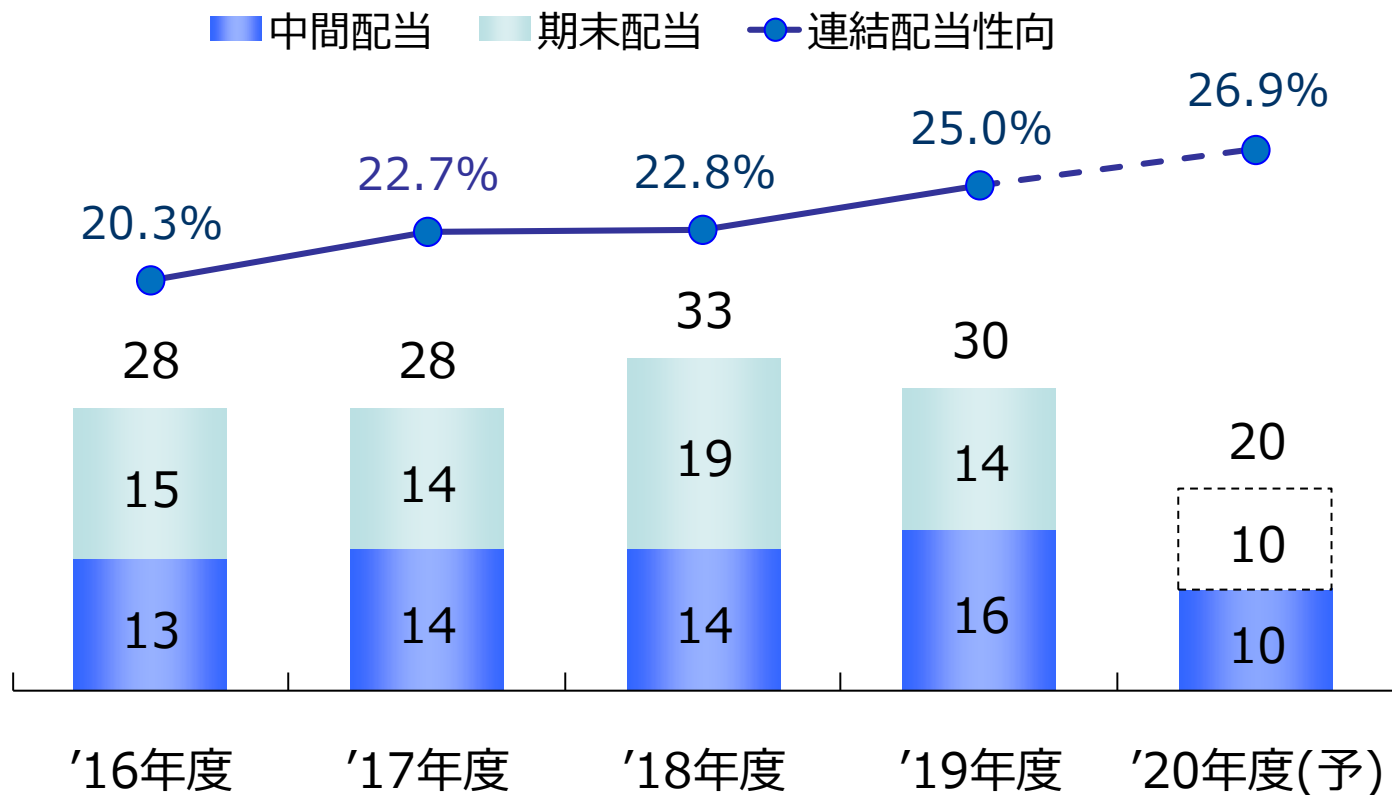


2-5 株主還元

中間配当10円実施

■ 年間配当

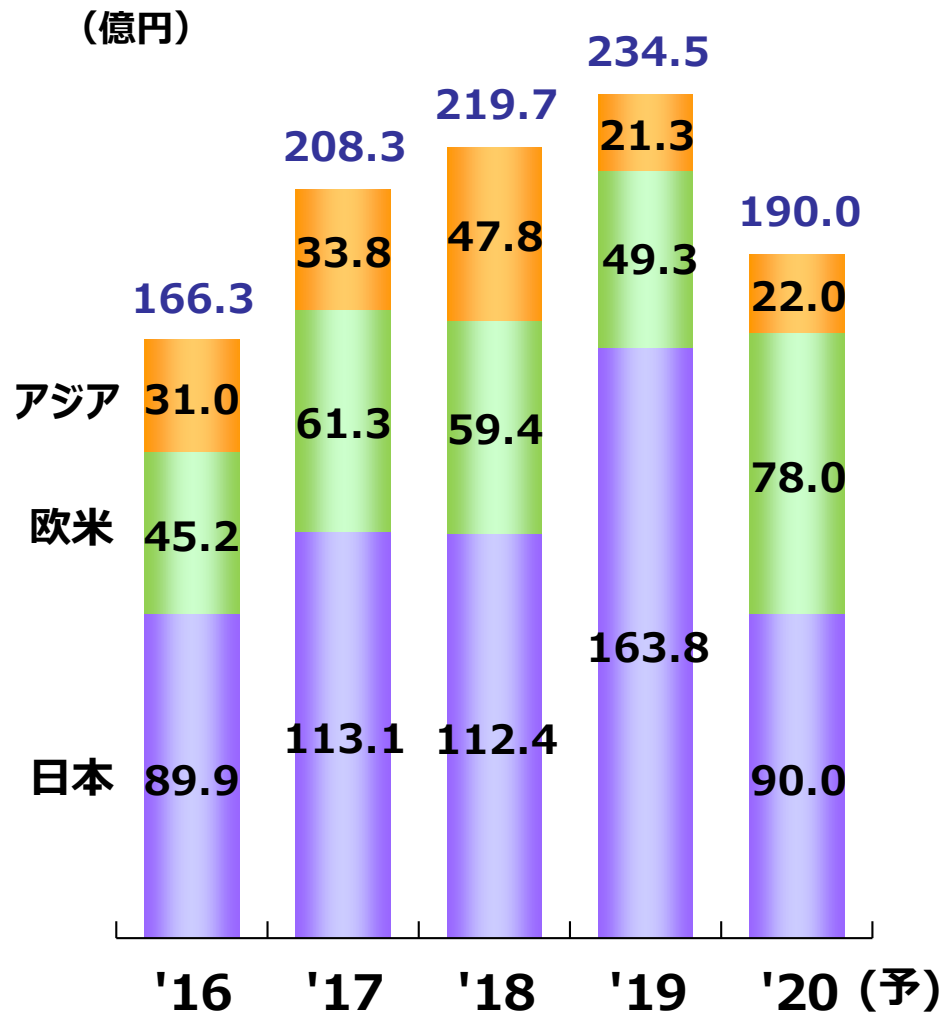
2020年度予定 年間：20円（中間：10円 期末：10円）



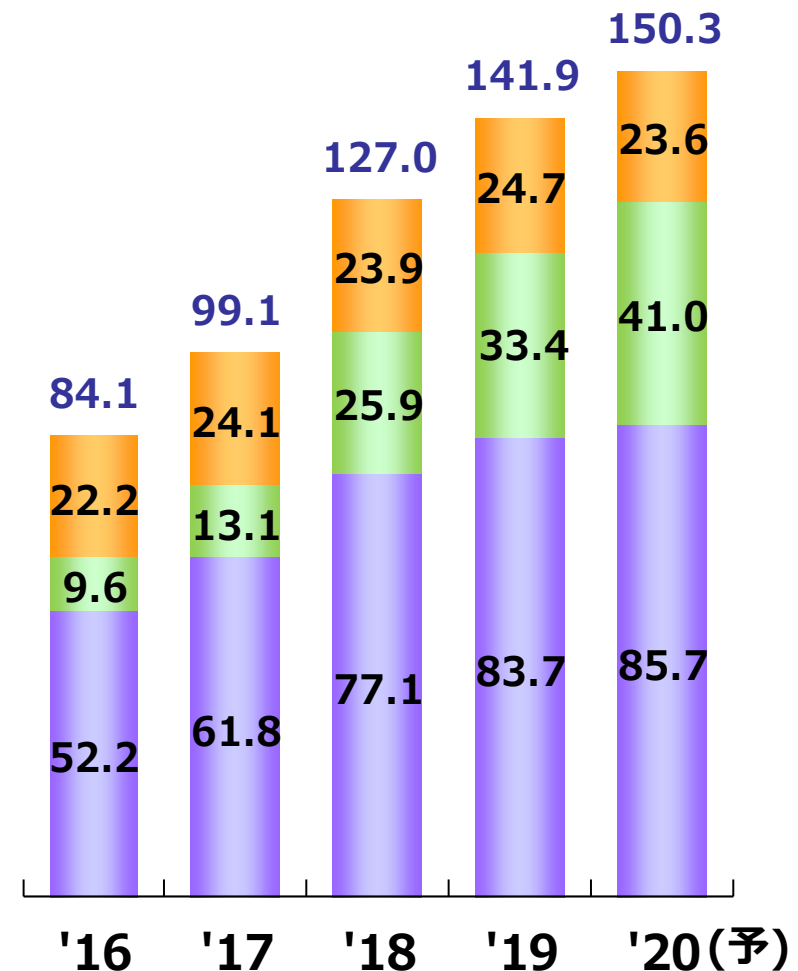
2-6 連結設備投資・減価償却費

設備投資は厳選して実施

＜＜設備投資＞＞

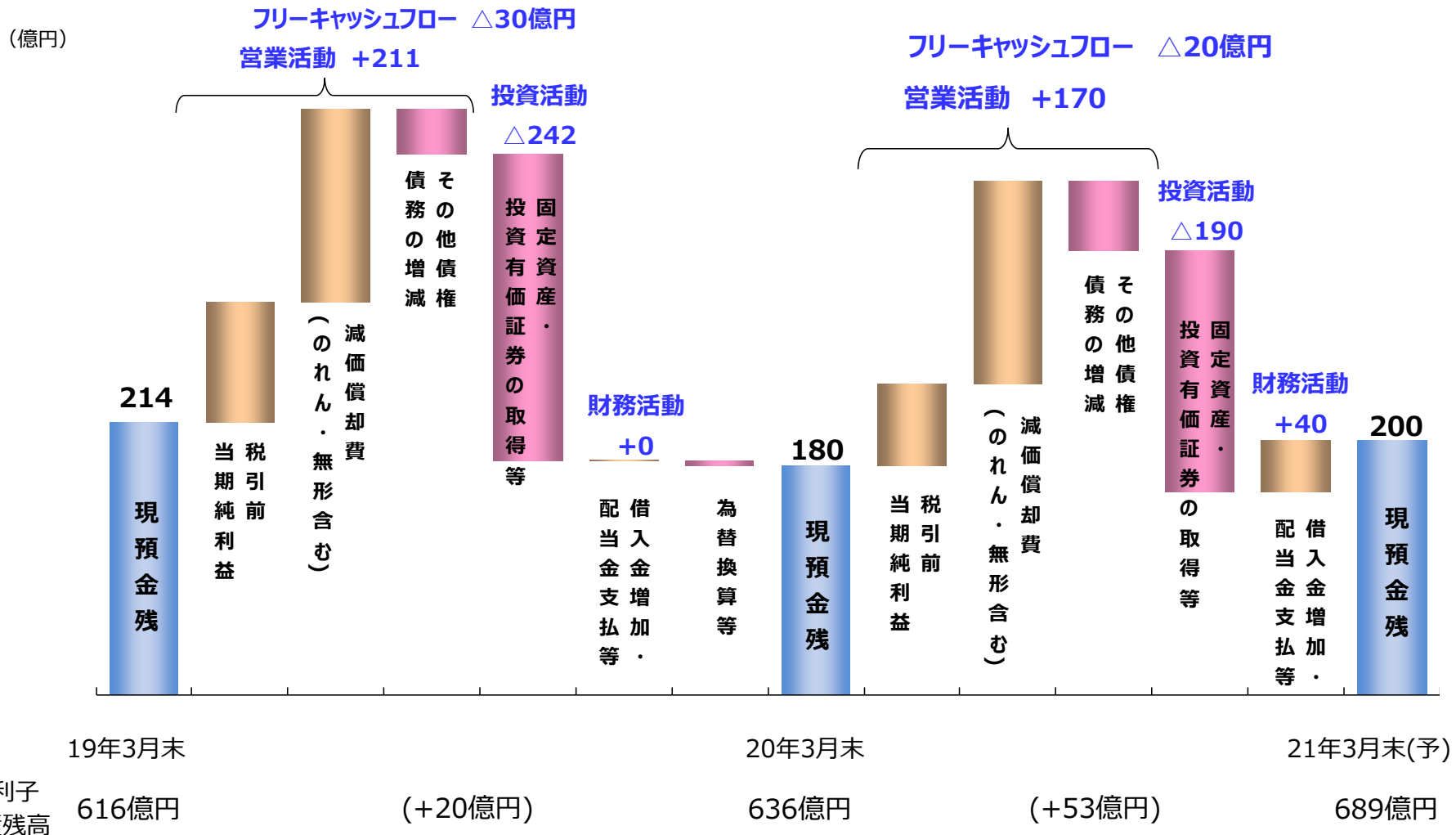


＜＜減価償却費＞＞



2-7 連結キャッシュフロー

必要資金を確保、投資は継続



1. 2020年度第2四半期業績
2. 2020年度通期予想
3. サステナビリティ経営
4. 中期事業取組み

3-1 サステナビリティ経営

持続可能な社会の構築、SDGsの取組み

長期ビジョン PACIFIC GLOBAL VISION

サステナビリティ経営 4つの柱

ステークホルダーとの信頼醸成

製品を通じた社会・顧客課題の解決

環境負荷の極小化

人財の尊重と活躍

社会課題解決に
役立つものづくりの推進

中期経営計画「OCEAN-22」

プレス・樹脂事業

自動車の軽量化・安全・環境性能向上に寄与
EV化に貢献する防音防振製品の積極展開

バルブ・TPMS事業

インフラに欠かせない車のコア製品の安定供給維持
安全・環境に寄与するTPMSのバリエーション展開

新規事業

社会に貢献できる新領域の製品・サービスの開発

15のマテリアリティ

3-2 サステナビリティ経営

サステナビリティ4本の柱と、15のマテリアリティを特定

Pacific Glocal Vision :

ステークホルダーに信頼され、地域社会に根ざし、共存・発展できる真のGLOCAL企業

■ ステークホルダーとの信頼醸成

- ・企業倫理・コンプライアンス
- ・責任ある調達
- ・顧客満足度の向上
- ・地域社会の発展



PCR検査カー寄贈



Pacific Glocal Vision :

持続可能な社会に向けて、コア技術を活かし、新事業・新製品・新技術を提供し続ける企業

■ 製品を通じた社会・顧客課題の解決

- ・持続可能なモビリティ社会と豊かな暮らしへの貢献
- ・モビリティの安全性向上
- ・環境配慮製品の開発



3-3 サステナビリティ経営

サステナビリティ4本の柱と、15のマテリアリティを特定

Pacific Glocal Vision :

持続可能な社会に向けて、コア技術を活かし、新事業・新製品・新技術を提供し続ける企業

■ 環境負荷の極小化

- ・気候変動の緩和及び適応
- ・持続可能な資源の利用
- ・水資源の保全

マテリアリティ	2023年目標	2025年目標	2030年目標
気候変動の緩和 および適応	※温室効果ガス削減率 ※CO2削減率 ※エネルギー効率 ※再生可能エネルギーの導入	削減率35% 削減率35% 削減率35% 削減率35%	削減率50% 削減率50% 削減率50% 削減率50%
持続可能な資源の利用	※水資源の保全 ※再生可能エネルギーの利用 ※廃棄物の削減 ※資源の循環	削減率60% 削減率30% 削減率30% 削減率30%	削減率80% 削減率50% 削減率50% 削減率50%
水資源の保全	※水資源の保全 ※再生可能エネルギーの利用 ※廃棄物の削減 ※資源の循環	削減率60% 削減率30% 削減率30% 削減率30%	削減率80% 削減率50% 削減率50% 削減率50%

PACIFIC環境チャレンジ2050



Pacific Glocal Vision :

社員の新しい発想や挑戦を大切に、仕事と生活の調和が実感できる企業

■ 人財の尊重と活躍

- ・人権の尊重
- ・安定した雇用と働きやすい職場
- ・従業員の安全と健康
- ・人財育成と挑戦できる風土の醸成
- ・ダイバーシティ&インクルージョン



1. 2020年度第2四半期業績
2. 2020年度通期予想
3. サステナビリティ経営
4. 中期事業取組み

4-1 外部環境変化と中期取組み

戦略取組みスピードアップ

【100年に一度の大変革】
・CASE ・モビリティ社会進展

【社会的要求】
・SDGs ・ESG

◀◀◀ コロナ影響により変化が加速

市場ニーズ：安全性能・環境性能・快適性能の向上

当社方針

業界動向・顧客ニーズに応える技術開発・拠点整備
新技術・新材料・新工法開発の加速

軽量化

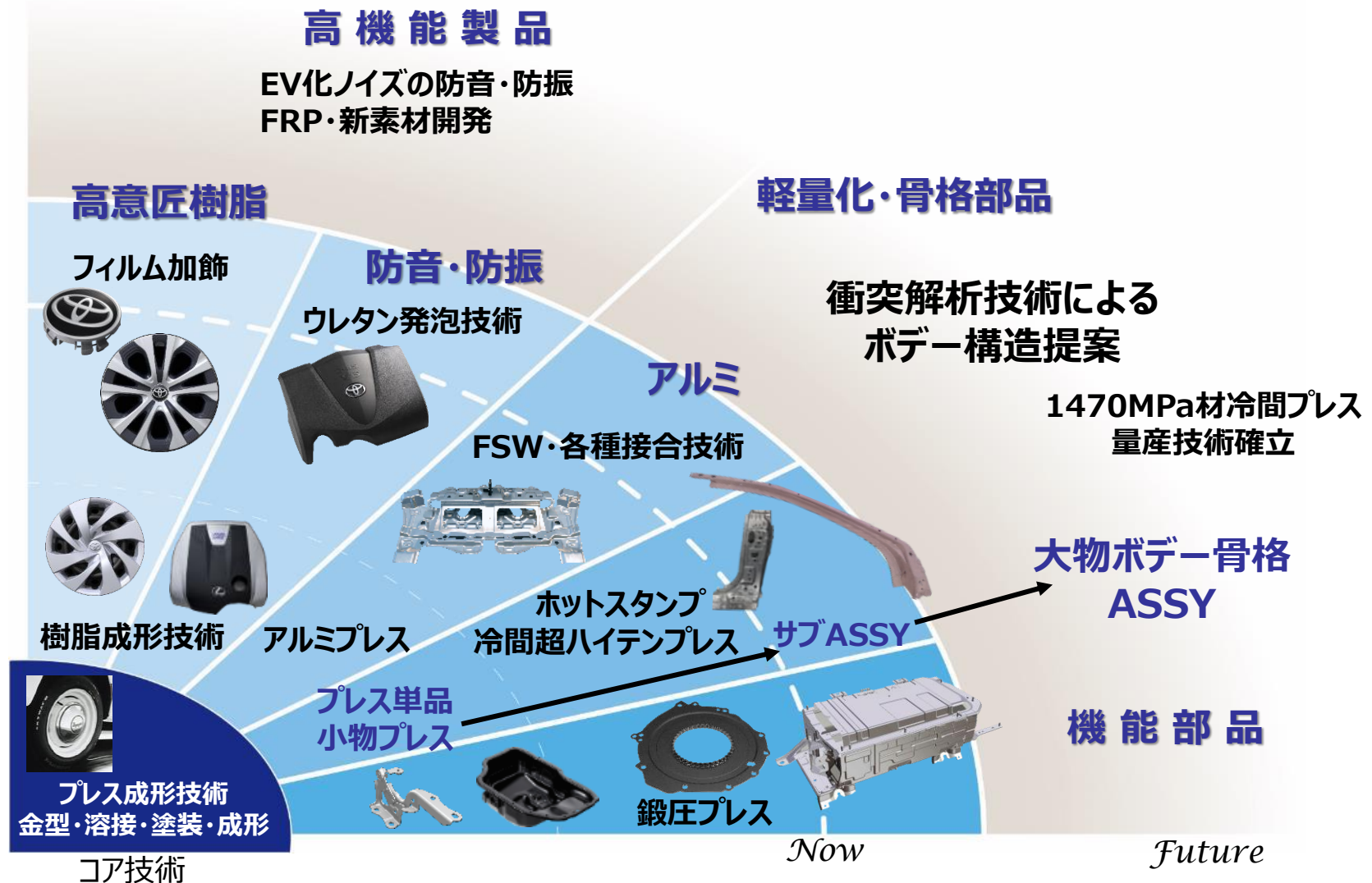
防音・防振

EV

新領域・新製品

4-2 プレス・樹脂技術の拡がり

軽量化・衝突解析・防音防振



4-3 ボデーシェルメーカーへの進化

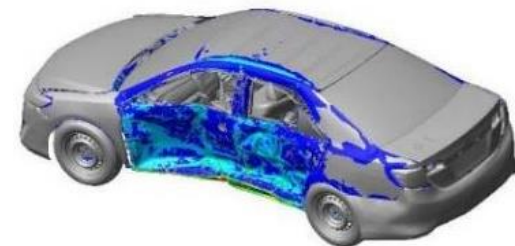
構造提案とアセンブリ領域拡大

■ 骨格プレス部品の強化

超ハイテンプレス成形技術の深化
→冷間での更なる成形領域の拡大

衝突解析技術の深化
→ボデー最適構造提案

小規模アセンブリから中規模領域への拡大
→大物ボデー骨格ASSY部品の受注



■ EV化ノイズの防音・防振

- ・EV化、欧州騒音規制によるニーズ拡大
- ・発泡ウレタン技術の深化、新素材開発による領域拡大



4-4 バルブ技術の拡がり

シール技術・制御技術



4-5 バルブ専門メーカーとして

タイヤバルブ・カーエアコンバルブで圧倒的地位を維持

■ EV向けヒートポンプ式 カーエアコン用バルブの開発

パワートレインの変化



暖房用熱源が不足



ヒートポンプ式エアコン

→ヒートポンプ式エアコンへの移行で制御バルブが必要

■ TPMS・バルブ製品の拡販

- ・アフターマーケット向け製品 販売開始
北米：'20年11月～



商品名

Flex-Sens®

■ Schraderとのシナジー創出

- ・品質・原価・生産性など、ものづくりの強化
- ・新製品の開発協業と相互販売

SCHRADER PACIFICで
世界No. 1 バルブメーカーを目指す



4-6 新分野の技術開発

センシング・無線技術を応用したソリューション開発

■ モニタリング・無線技術を応用した新製品開発

《活用領域》

環境モニタリング需要

食品生産・輸送工程



冷凍食品



冷凍コンテナ

医薬品輸送



輸送トラック



医薬品・検体

畜産業界



■ センシング技術を応用した安全・安心製品開発

- ・フォークリフト用サーモ充電ケーブル
- ・データセンター向けサーバ異常監視システム



4-7 サステナビリティレポート

■ 内容充実、名称変更し、10月28日に発行



- ・マテリアリティ特定プロセス
- ・環境ビジョン
- ・開示情報のグローバル化
- ・非財務情報の充実

<https://www.pacific-ind.co.jp/csr/report/>



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow